

長い間住み慣れた土地で、
安心した生活をいつまでも送れるように



震災復興推進局

浦戸地区の災害公営住宅が全て完成します。

浦戸地区の災害公営住宅については、既にご入居頂いた、桂島地区（Ⅰ期）の8戸、野々島地区の15戸を併せ、45戸を整備する計画を進めてきましたが、寒風沢地区の11戸、朴島地区の5戸が10月に、桂島地区（Ⅱ期）の6戸が12月に、それぞれ完成する目途が立ち、これにより、浦戸地区に整備する全ての災害公営住宅が、年内に完成、入居頂けることとなります。

▼浦戸地区の災害公営住宅の整備状況

地区	完成	工事中	備考
桂島	8戸	6戸	12月完成・入居予定
野々島	15戸	-	入居済み
寒風沢	-	11戸	10月完成・入居予定
朴島	-	5戸	10月完成・入居予定
計	23戸	22戸	
	45戸		



△桂島地区Ⅱ期災害公営住宅



△寒風沢地区災害公営住宅

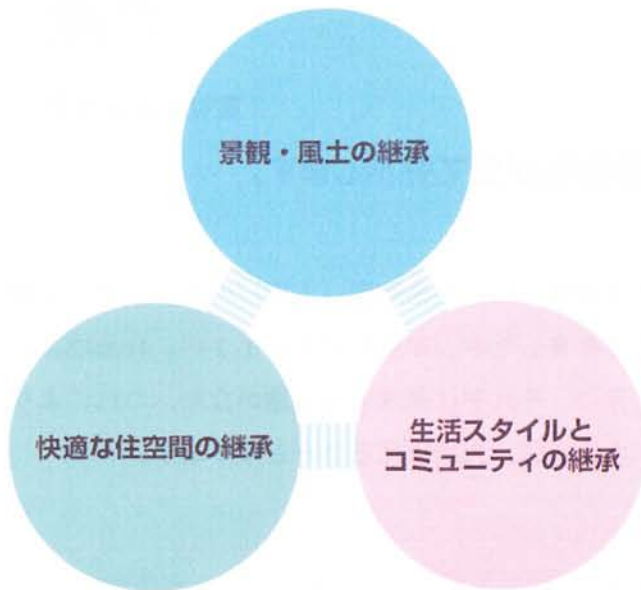


△朴島地区災害公営住宅

※施設の完成に伴い、各地区においてイベントの開催を企画しております。日程等については、後日お知らせいたします。

〈お問合せ〉
塩竈市震災復興推進局復興推進課
住宅基盤復興係（電話 355-6596）

■ 浦戸地区災害公営住宅整備コンセプト



景観・風土の継承

特別名勝松島に配慮した外観、外構計画、島の歴史・風土の十分な理解と設計への積極的な反映。

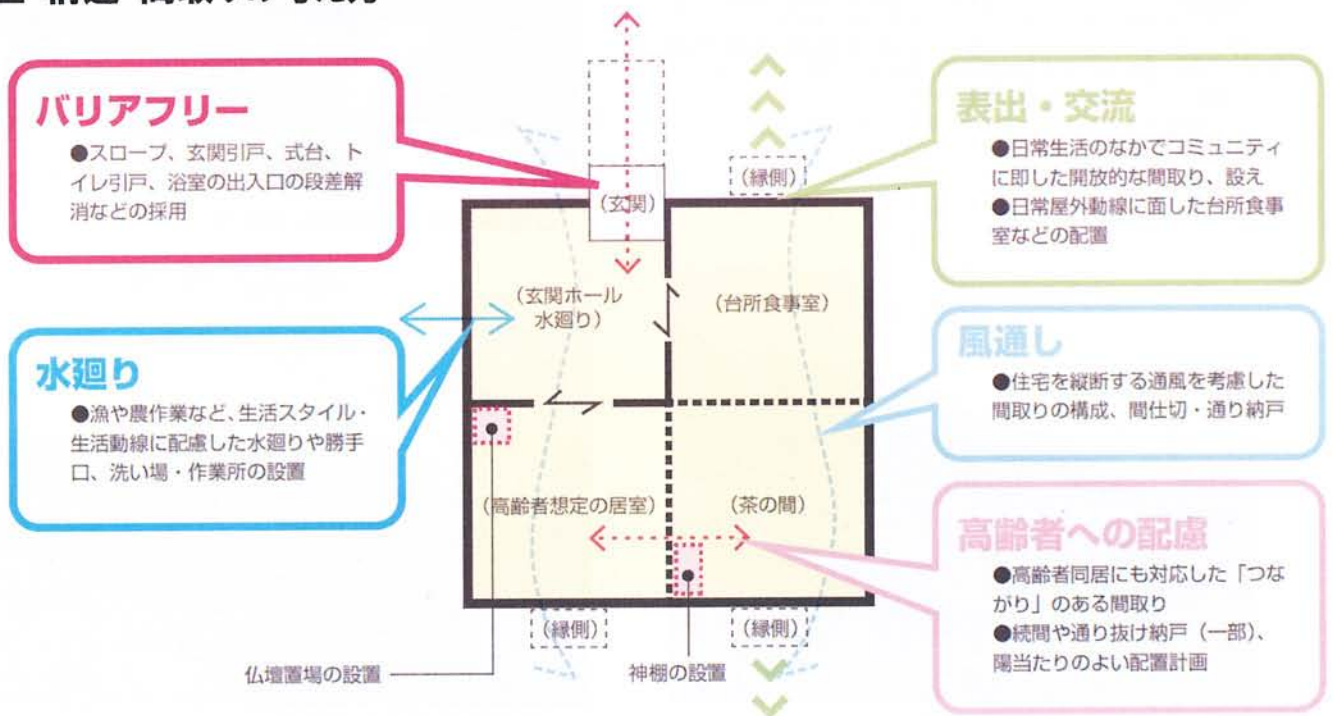
快適な住空間の継承

島内の住民自ら管理を想定し、長期に渡って適切に管理できる設えとし、将来の施設転用を見据えた構造とする。

生活スタイルとコミュニティの継承

島の生活スタイルに即した住戸プランの計画、コミュニティの形成・維持に配慮したハード面、ソフト面の提案。

■ 構造・間取りの考え方



景観・風土の継承

島の風土・くらしを継承した、「神棚」や「仏壇」の置場の配慮

快適な住空間の継承

陽当たり、通風、水廻りの換気を考慮。ユニバーサルデザイン、バリアフリーに考慮し、段差の解消、引戸の採用、手すりの設置。

生活スタイルとコミュニティの継承

陽当たり、通風、水廻りの換気を考慮。ユニバーサルデザイン、バリアフリーに考慮し、段差の解消（スロープ、式台など）、引戸の採用、手すりの設置。